

「東日本大震災」災害支援だより

創刊第1号 2011年4月30日発行

全国移動ネット災害支援の会 〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-1-2 山崎ビル204号

◆問合せ先◆
全国移動ネット
TEL 03-3706-0626
E-Mail
info@zenkoku
-ido.net

刻々と変化する被災地の状況。その中で、現在、多くの方が支援のために奔走しています。「1号」では支援活動を行っている方々の活動を中心に抜粋してお伝えします。友を想い、知人を想い、お会いしたことのない方々を想って、考えながら動いていくこと。今日ある自分に「ありがとう」と感謝しながら、復興をめざして一人ひとりができることを探っていきましょう。

巻頭言 いま、試される市民の力（災害支援の会プロジェクト 代表・柿久保浩次）

今回の震災で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。震災当日から大変なことになったという思いが心を占めて、押しつぶされそうでした。

阪神大震災の時の経験は持っていても今回はそれを大きく上回っています。「これはいかん」と自分にできることを探し始め、関係者に声をかけて全国移動ネットの中に「災害支援の会プロジェクト」を発足させました。幸い被災地の当会の理事たちが無事で、また山本理事が東京から素早く被災地に足を運んで支援物資を届けてくれたことも、我々を元気づけてくれ

ました。

しかし、1か月を経た今でも被災地や避難場所でも多くの方が「生活」とは言えない不自由な避難生活を強いられ苦しんでいます。我々一人ひとりができる小さなことを集めて、この人たちを支援することはできないでしょうか。今回の震災復旧は長期に渡ると言われていますが、この国の制度や支援体制を十分に機能させてこの方々を救えないでしょうか。

市民の力が試されています。被災した方々に寄り添って考え、支援していきたい。

●全国移動ネットの活動（2011年4月17日現在）

全国移動ネットは、移動困難な方を対象に被災地や避難先で、以下のような取り組みを行います。

【役割と体制】

1) プロジェクトの設置

理事会

↓-----企画委員会（=理事長）

災害支援の会プロジェクト

- ・代表：柿久保理事
- ・構成員：（被災地域および周辺の理事）
山本、荻野
- ・事務：鬼塚

2) 組織内外で相互に情報交換・分担・協力する

全国移動ネット(理事・会員)-----個々の事業者

↓ ↓
地域ネットワーク 他の災害支援ネットワーク

【具体的な活動（予定を含む）】

- 1) 募金（活動資金確保）とお見舞い
- 2) 情報収集と発信（支援だより発行、メールリスト、マスコミへの発信）
- 3) 各省、議員へ被災者に対する移動支援の体制整備の働きかけ（JCN：東日本大震災支援全国ネットワークを通しての要望提出、等）
- 4) 直接支援（被災地、避難場所での移動支援、等）
- 5) 相談とネットワーキング（相談窓口の開設、他団体からの協力呼びかけ対応・連携）
- 6) 復興支援（検討中）

拡大するとわかってから動いたのでは、パニックに巻き込まれて身動きが取れない」とのこと。利用者及びその家族、スタッフ及びその家族等全員が、「放射能レベルが危険域を超えると同時に東京に避難できるように準備している」という話が印象的だった。

ご紹介したいのは、いわき市植田町に本部を置く民間

ボラセン「いわき市勿来地区ボランティアセンター」だ。民間ボラセンの活気・目の輝きは違うと感じて、見ていたこちらも意を強くした。

今後は当会も、北茨城市の避難所から公営団体に移った被災家族の支援と同時に、隣のいわき市の支援に可能なかぎり関わってきたい。

●Topics！ Topics♪ ●●●●●●●●●●

◆JCN（東日本大震災支援全国ネットワーク）会議開催

4月7日（木）、「震災ボランティア・NPO等と各省庁との定例連絡会議（第1回）」が開催された。出席者は160名、JCN代表はあいさつで「今回の震災は、“複合化”かつ“深刻”で“長期化”することから、官民共同の支援が必要である」とアピールした。全国移動ネットは、被災者の送迎支援のためにNPOの発地着地や登録会員の制限緩和と送迎のガソリン代等の公的支援を要望した。なお国土交通省の渋谷課長は、全国移動ネットの要望に対して、「移動のことは現地の状況を確認しながら進めたい」と発言した。（ハンディキャブを走らせる会 鬼塚）

◆大阪から福祉車両2台一仙台行き決まる！

4月19日（火）～22日（金）、大阪から4名（柿久保、橋本、奥田、遠藤）、東京から1名（鬼塚）のメンバーが宮城へ福祉車両2台を届けることが決まった。他には発電機やシャワーチェア、車イス、おむつシートなど、できるかぎりの荷物を積んで仙台市の「CIL たすけっと」へ届ける。

（アクティブネットワーク 遠藤）

◆被災者と温泉に行こう！

山形県体育館に避難している人々を、山形市西部にある百目鬼（どめき）温泉に週2回送迎している。

利用者は平均5～6人おり、軽の電気自動車だけでは対応で



きなため、ドライバーにマイカーを提供してもらっている状況だ。

（やまがた福祉移動サービスネットワーク 齋藤）

●今後の活動予定 ●●●●●●●●●●

現在の活動に加えて以下のような活動を予定しています。

◇日本財団「東北地方太平洋沖地震 災害にかかる支援活動助成」に申請。

◇関係団体の協力意向調査（「協力意向問合せ」を4/13に配信済み）。被災地のニーズを収集する。被災地入りのための震災特約つき保険に加入。

◇相談窓口の開設⇒相談を受けるための携帯電話を契約、ほか。

●募金活動 ●●●●●●●●●●

いつも全国移動ネット災害支援の会をご支援くださり、ありがとうございます。

◆ご報告：

◇御礼：以下の方々からご寄附をいただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

お名前 (敬称略。順不同)

移動サービスアクセス、移動ネットおかやま、
かながわ福祉移動サービスネットワーク、関西 STS 連絡会、
埼玉県移送サービス、地域教育福祉会・花さき山、
中原たすけあいの会、日常生活支援ネットワーク、
陽だまり、まごころサービス塩釜センター、
泉学園パンフルート、乾医院、石黒まきこ、井元和美、
鬼塚正徳、澤田広美、島津淳、菅原ふじ子、関義信、高山弥、
貞包健一、豊永真知子、西井雄一、松本大、浦辻則子

◇金額（4月20日現在）

総計（郵便、みずほ銀行 現金）：1,706,000円

◇支援募金・主な振込先（4月21日現在）：第一弾として支援金を送金済みの団体は、以下の5団体です。

★特定非営利活動法人 ウィラブ北茨城

★秋田ボランティア協会

★特定非営利活動法人 移動サービスネットワークみやぎ

★やまがた福祉移動サービスネットワーク

★特定非営利活動法人 ささえ愛山元

◇支援募金のお願い：支援物資購入、出動団体やボランティアの経費、燃料代その他に大切にに使わせていただきます。引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

★お振込み先★

以下のいずれかに、ご送金くださいますようお願い致します。

郵便振替 加入者名：NPO法人全国移動ネット災害支援の会

口座番号：00190-1-623459

銀行口座 銀行名：みずほ銀行 千歳船橋支店（番号154）

預金種目：普通預金 口座番号 2111719

口座名義：全国移動ネット災害支援の会

◆編集後記◆ 被災した人のくらしの足として中古車の需要が増しているというニュースを見た。移動が困難な人たちの「足」はどうなっているのだろう。しかし、役所やボラセンでは「困っていない」と言われることが多いという仲間の報告…移動のニーズは長く寄り添い、見る人が見てこそ、見えてくるものなのかもしれない。(み)